寄宿舎教育目標

集団生活の中で個々の障がいや発達課題に応じて、適切な指導・支援を行うことにより、基本的な生活習慣を身に付け、自分の生活を作り上げる意欲や社会参加する力を育てる。また、多様な集団生活を通して人との関わりを学び、青年期の幅広い人格形成を目指す。

(平成 30 年度 経営計画 Ⅷ)

寄宿舎の運営 寄宿舎教育目標より)

白樺高等養護学校寄宿舎の指導の柱

～生活を営む力を育てる～

- ・日常生活に関することについて、日課を通して、継続、反復することで身辺処理能力の向上を図るとともに、その目的や意味について指導している。
- ・自立（身辺処理の自立、精神的自立、社会的自立）を目指し、寄宿舎生活を通して、集団を活用した指導を行っている。

～社会性を育てる～

- ・集団生活を通して、人との関わりや他者のことを考える機会を経験していく。
- ・挨拶や言葉遣いなどコミュニケーションについて、実生活での経験を通して進める。

～心を育てる～

- ・集団生活を通して、喜びや楽しみなど感情を共有しあう人間関係を目指す。
- ・お互いのことを考えた生活を送ることで、優しさや思いやりに触れ、感謝する気持ちなど感情を育む。
- ・各舎室での活動をはじめ、集団への帰属意識を持ち、集団の中での自分づくりを育てる。
- ・やってみたい、こうしたら良いという気持ちを育て、その思いを形にできるように支援する。